

ものづくり教室 2022

松崎 剛¹ 村上 洋輔¹¹計測班 機器分析係

開催日程

日 時: 令和4年8月3日(水)～5日(金)

場 所: 大阪大学 産業科学研究所 インキュベーション棟講義室

概 要

産業科学研究所では地域貢献の一環として、毎年夏休み期間中に、小学生を対象とした「ものづくり教室」というワークショップを行っている。今年度は「世界に一つだけのアルギン酸ビーズドームを作ろう」と題し作製を行った。なお新型コロナウイルス感染の流行により、感染対策を徹底し、安全衛生管理部にも確認をとりながら実施した。

対象者: 小学校4年～6年生

定員: 30名 (応募者総数: 200名)

成果と反省点

「ものづくり教室」は新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となったが、大変多くの応募があった。最初に関野所長から産業科学研究所の紹介があり、参加者からは当所に興味を持つことができたことと好評をいただいた。募集や広報のため大阪大学懐徳堂のホームページに掲載したイベント情報は、掲載期間中にアクセス数が大幅に伸び、産業科学研究所を多くの方に知っていただくきっかけとなった。

ワークショップではアルギン酸ビーズ作成のための試薬の使用や、はんだ付けを用いた電子工作など難易度の高い工程も行ったが、事故もなく全員が無事完成させることができた。参加者のアンケート結果は好評であり、保護者の方からスタッフへの感謝の言葉をいただいた。子供たちに化学への興味を持ってもらい、ものづくりの楽しさを体験することで、将来の研究者・技術者の育成につながることができたと思う。

新型コロナウイルス流行の続く中での開催となり、感染拡大防止のため、定員と時間を削減し、スタッフはマスクとフェイスシールドの着用、開始前の検温・常時の換気など感染対策を徹底した上でイベントを行った。例年、産業科学研究所の先生方が子供たちに向けた特別講義を実施していたが、今年は時間短縮のため省略せざるを得なかった。また、長時間のイベントが参加者に負担をかけることが考えられるため、今後は対象年齢に応じて定員や日程・時間を再検討する余地がある。室員の負担も踏まえ、より安全かつ有意義なイベントを開催するため、今後も改善に取り組んでいきたい。

